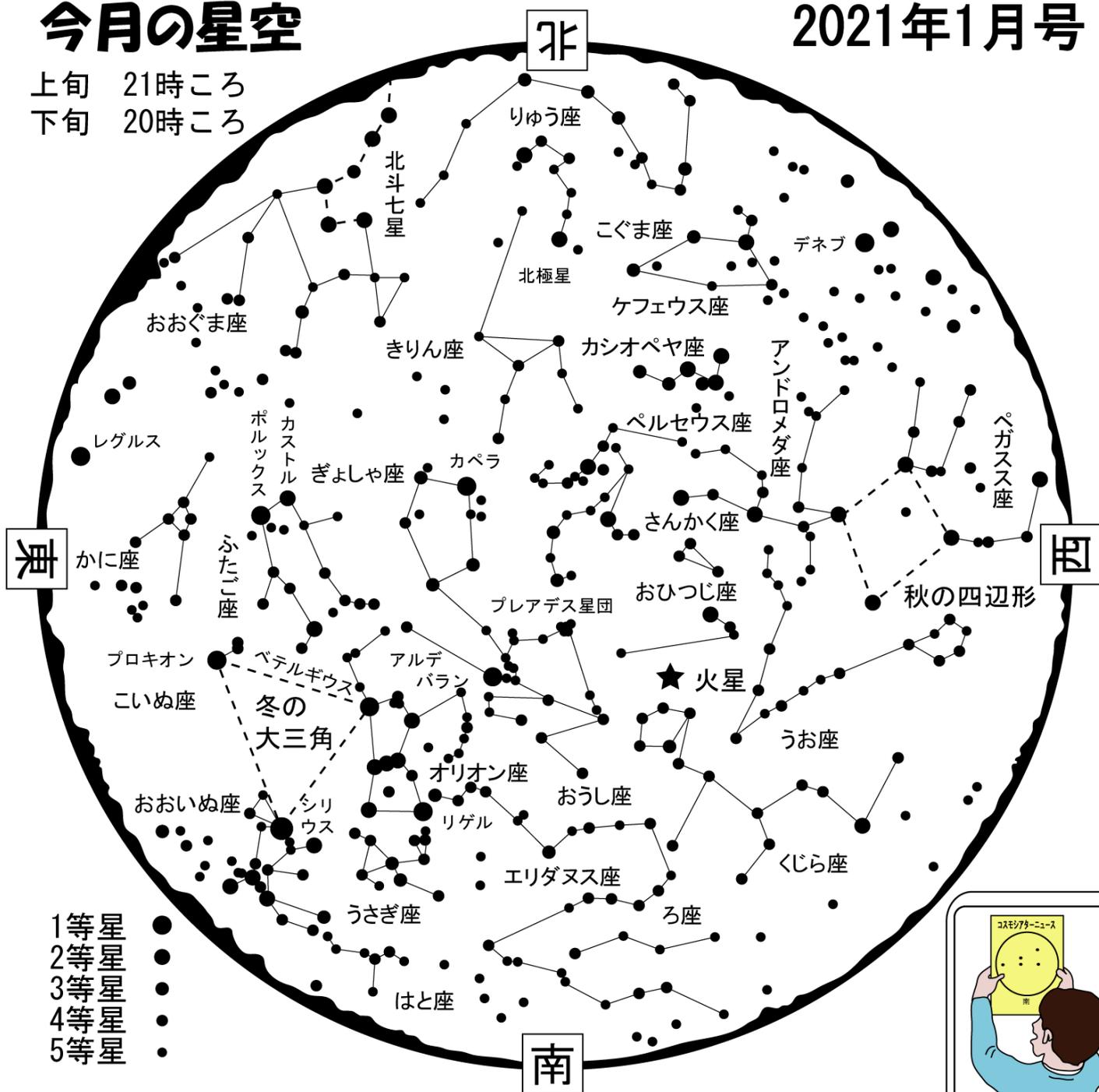


コスモシアターニュース

今月の星空

2021年1月号

上旬 21時ころ
下旬 20時ころ



今月の惑星の動き

- 水星：中旬以降の夕方、南西の低い空に見えます。明るさは0～-1等星です。
- 金星：明け方、南東の低い空に見えます。明るさは-4等星です。下旬以降は見つけにくくなります。
- 火星：夕方、南から南西の空に見えます。明るさは0等星です。次第に暗くなります。
- 木星：上旬までの夕方、南西の低い空に見えます。明るさは-2等星です。
- 土星：初旬までの夕方、南西の低い空に見えます。明るさは0等星です。

今月の月の満ち欠け

下弦：6日(水) 新月：13日(水) 上弦：21日(木) 満月：29日(金)



自分の向いている方向を下にして、見てください

4日(月)、明け方、りゅう座(しぶんぎ座)流星群

流星群の流星は、ある地点から放射状に流れるように見えます。その流れ出す地点(放射点(ほうしゃてん))の場所をとって、何々座流星群と呼びます。りゅう座流星群は、りゅう座の方向から全天に流れていきます。(※昔は、ここにしぶんぎ座があったので、しぶんぎ座流星群と呼ばれることがあります。)

りゅう座流星群の極大は、3日(日)の23時ごろです。このため、多く見られるのは、3日の深夜から4日の明け方となります。今年は、ほぼ一晩中明るい月が輝き、条件がよくありません。実際に見られる数は、松山市内で4日の未明から明け方ころに、1時間あたり5個程度になるでしょう。なお、郊外に出かけると、1時間あたり10個くらい見られるかもしれません。観察する時は、星を目印にするよりも、おおまかに北東の空を見ればいいでしょう。

10日(日)、夕方、南西の大変低い空で、水星、木星、土星が並んで輝く

18時ころ、南西の大変低い空に、木星が輝きます。高さが低いので、見晴らしのいいところで探して見てください。もし木星が見えれば、木星の少し下に、少し暗めの水星と土星が並んでいるのが分かるかもしれません。木星の下に星が見えたら、左側の少し明るめが水星、右側の星が土星になります。なお、双眼鏡を使用すると見やすくなります。この接近は、前後数日続きますので、地平線付近まで晴れた夜にご覧ください。ただし、時間がたつとすぐに見えなくなります。

12日(火)、明け方、南東の空で、月と金星が並んで輝く

12日(火)の明け方の午前6時30分ころ、細い月が南東の低い空に輝きます。そして、この月の上を見ると、明るい星が輝いているのがすぐに分かります。この星が、明けの明星・金星です。ただし、この後すぐに朝焼けで空が明るくなりますので、注意してご覧ください。双眼鏡などお持ちの方は、空が明るくなる、午前7時ころまで、見えるでしょう。

15日(金)、夕方、南西の大変低い空で、月と水星、木星、土星が並んで輝く

夕方、南西の低い空に集合している三惑星に、月が加わりにごやかになります。高さが大変低いので、双眼鏡を使って探すといいでしょう。見える時間は、18時ころです。細い月の下側を見てください。明るい順に、木星、水星、土星となっています。

21日(木)、南の空で、月と火星が並んで輝く

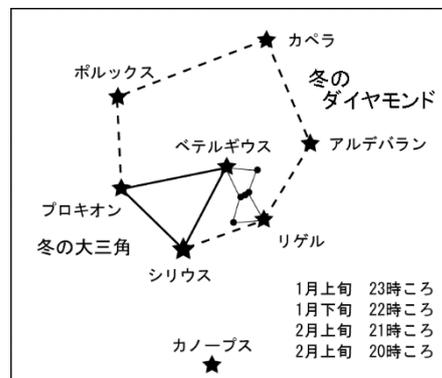
空が暗くなる18時~19時ころ、南の空で月と火星が並んで輝きます。火星の場所は、月の少し上側です。火星はオレンジ色の明るい星で、月の近くにはこれ以上明るい星はないので、間違えることはないでしょう。

★冬の明るい星を見よう

冬の夜空は、右のように冬の大三角や冬のダイヤモンドといった分かりやすい星の並びがあります。これらの中で、最も明るいのはシリウスです。プロキオンも明るく、冬の大三角は大変目立つ存在となるはずですが、20時ころではまだ高さが低く、南の空高く見えるのは、夜遅くになります。

冬のダイヤモンドは冬の六角とも呼ばれ、大変大きく広がっています。また、カペラは頭の真上を越してやや北の空よりに、ポルックスはほぼ頭の真上になります。

右の図は、南の空を眺めたときの星空で、上が北、右が西、左が東となっています。



★冬の明るい星の名前

冬の明るい星は、古くから注目され、日本でも特別な名前をつけて読んでいました。ぜひ明るさ比べとともに、色の違いなども観察してください

星の名前	星の色	明るさ	星座	日本での固有名 呼び方の理由
シリウス	青白	-1.46 等星	おおいぬ	青星(あおぼし) 青く見えるため
カノープス	白	-0.72 等星	りゅうこつ	おうちやくぼし 少ししか空に見えないので
カペラ	黄色	0.08 等星	ぎよしゃ	虹星(にじぼし) 低い時いろいろな色に見えるため
リゲル	青白	0.12 等星	オリオン	源氏星(げんじぼし) 源氏の白旗の色に見えるため
プロキオン	白	0.38 等星	こいぬ	いろしろ ずばり、白く見えるため
ベテルギウス	赤色	0.5 等(変)	オリオン	平家星(へいけぼし) 平家の赤旗の色に見えるため
アルデバラン	オレンジ	0.85 等星	おうし	すばるのあと星 すばるのあとに昇ってくるため
ポルックス	オレンジ	1.14 等星	ふたご	金星(きんぼし) 金色に輝いて見えるため
カストル	白	1.58 等星	ふたご	銀星(ぎんぼし) 銀色に輝いて見えるため

※明るさは、数が少ないほど明るくなります。また、ベテルギウスの明るさ(変)は、明るさが変わる変光星(へんこうせい)という意味です。カノープスは、高度が低く、大気の影響で赤く、暗く見えます。